

平成27年度 活動報告書

Annual Report 2015.4~2016.3



Contents

事業報告	P1~9
決算報告	P10~24
事業計画	P25~28
予算	P29~30
役員・理事リスト	P31~32
変遷・組織図	P33



Accountability
Self-Check 2012



TERRA PEOPLE ASSOCIATION

認定NPO法人 地球市民の会

平成27年度 地球市民の会の活動の総括

平成27年度も皆さまのご支援により、
地域の方々にご協力をいただきながら活動することができました

● 中山間地域づくりの空き家対策事業を住民の方々と連携して活動を行いました

佐賀市富士町を中心に空き家対策事業を地域の方、行政と連携して実施してきました。少子高齢化が進む佐賀市富士町は34%の高齢化率になり、空き家の増加によりメイン通りもシャッター通りが続いていました。そこで、危機感を抱いた自治会長とともに地域の方や仕事で関わっている方々で空き家対策チームを結成して活動を行っていきましました。まずは、行政と連携して空き家調査を行い、空き家の現状を知ることから始めました、同時に情報を一本化したり、イベントなどを通してまずは古湯に来てもらえる仕掛けづくりを行いました。その結果、1年間で10件の方が古湯に移住することになりました。
この活動を継続的に続けていくためにも地域の方々の参画がさらに必要と感じます。

● ミャンマー事業は、これまでの農業を中心とした地域開発事業を継続し、さらにそれらの事業をソーシャルビジネスへと展開できるよう取り組みました。

循環型農業を中心とした地域開発事業は順調に実施されています。また、今後中心になっていく現地スタッフと話し合いながら徐々に事業運営の現地化を進めています。すぐにできるものではないので、ゆっくり時間をかけてやっていきたいと思います。ソーシャルビジネスに関しては、循環型農産物の販売(アンテナショップ・greenhill)搾油事業を始めた他、地の利を活かしてミャンマーに住む日本人の小学生と保護者対象の農業・畜産体験も開始しました。

● 奨学金の拡充と奨学金制度の見直しを行いました

1990年より続いた中学生への奨学金支援が、2015年度の卒業生を持って終わりを迎えました。7月に現地調査に行き、タイ王国のウドンタニ県・カラシン県全体における教育事情の調査を実施しています。1990年当初は8%ほどだった中学進学率が、今はほぼ100%、高校へも80%が進学できるようになりました。
またミャンマー地域での奨学金を、寮生対象の奨学金と合わせて、地域で学校に通う子どもたちの奨学金も開始しています。現地の状況に合わせて、子どもたちに合った奨学金へと成長する一年となりました。

● 多くの方々と繋がるプログラムを作ることができました

イベントボランティアの呼びかけや、ランチ会を兼ねた報告会の企画、また国際交流や国内事業等で会員の方以外にも多くの方々に参加・サポートしてもらい事業が行うことができました。

● 活動や成果の情報発信を行いました

多くの事業を知ってもらうためにSNS(主にフェイスブック)を使って、定期的に情報発信を行いました。フェイスブックも1000「いいね」を超えることができました。
また、クリック募金・gooddoを使って地球市民の会の応援者等の獲得へと繋げました。

● 九州グリーン・ツーリズムシンポジウム2015佐賀大会を実施しました

佐賀のグリーン・ツーリズム推進および実践者同士の交流を深めることを目的に、毎年各県持ち回りで大会を実施しています。2015年度は佐賀県で地球市民の会が事務局となり12月2日、3日に実施しました。
佐賀県内のグリーン・ツーリズム協議会を置く佐賀市、唐津・玄海、伊万里市、鹿島市、吉野ヶ里町の5の地区と連携して2年前から話し合いを進めてきました。当日は、九州圏内からグリーン・ツーリズム実践者が400名以上の参加がありました。全2日間のプログラムとしては、1日目は各5地区に参加者が分かれて体験事業や農家民泊などを行いました。2日目は本会場である唐津市に移動し、シンポジウムや食の大交流会が行われました。参加者の満足度も高く、実践者同士の交流を深めることができました。

平成27年度 活動方針の振り返り

活動方針

もっと“ツナガル”地球市民の会へ

昨年度は会員様はじめ多くの方々にイベントや事業にご参加をいただき、支えていただいた1年でした。また、事業を通して新たな出逢いがあり、地球市民の輪が広がる活動を行うことができました。

● 重点活動

①活動の現場、フィールドと“ツナガル”

海外事業の報告会やスタディーツアー、国内の中山間地の活動に参加できる機会を増やし、計25回実施しました。

②会員のみなさんと“ツナガル”

イベントや事業への参加を会報や直接連絡などをして、呼びかけを行いました。また、ボランティアカフェを行い、会員の方同士の交流も深めることができました。

③新たな出逢いと“ツナガル”

昨年度は、県内外のイベントへの参加やイベントの自主開催、講演会などを行い、新たに当会を知ったり、サポートしたりしていただいた方が2,593名増えました。

● 事業別重点活動

国内事業：

1) 中山間地域づくり事業の推進

佐賀市富士町古湯、麻那古集落では空き家再生事業を実施しました。また、吉野ヶ里町では30本のオリーブの植樹を行いました。

海外事業：

1) ミャンマー事業ステージ2の展開(これまでのノウハウを活用したコミュニティ/ソーシャル・ビジネス化)

循環型農業実践農家の組織化が進み、農産物の協同集荷、販売(Greenhill)や、植林と連動した搾油事業などが立ち上がり、新たな事業展開ができてはじめています。

2) ミャンマーでのシャン州を中心とした地域づくり事業

TPAミャンマー主導の地域づくりを目標に、現地スタッフの育成が進み、現地スタッフ中心の事業運営も始めました。今後のTPAミャンマーの設立へ向けてゆっくりではありますが、前進しています。

3) タイ事業

高校・大学生への奨学金支援と中学生支援の総括

奨学金事業全体の制度の見直しを実施しました。中学生支援の統括を今後まとめていきます。

4) スリランカ事業

奨学金の継続支援と交流の促進

5年ぶりのスリランカ訪問を実施し、相互間交流を深め、奨学金事業のモニタリングを実施出来ました。

5) 韓国・中国事業

日中韓の国際交流事業(TOMODACHI100プロジェクト)

過去最多の中国・韓国の大学生およびサポーターが参加してくれました。また、事業後も交流が継続的に続いています。

平成27年度事業報告概要

事業	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲、人数	支出額
国内事業	夏休みキャンプ(ふるさとステイ、金立キャンプ)	7月～8月	佐賀市富士町関屋、三瀬中鶴金立キャンプ場	2人	佐賀県、福岡県小学生 139名 富士町/三瀬協力者 15名	1,263
	雪国ふるさとステイ	12月	福井県	2	佐賀県、福岡県小学生 6名	692
	中山間地域づくり事業	通年	佐賀市富士町吉野ヶ里町	2人	佐賀市富士町、吉野ヶ里町、協力者延べ420名	1,521
	日中韓大学生交流事業 TOMODACHI100	1月	佐賀県内各所	2人	中国人大学生28名、中国人引率者5名、韓国人大学生10名、協力者112名(日本人学生も含む)	2,275
	委託事業	通年	佐賀市内	2人	参加者 延べ150名	280
	その他(絆伝心、物販、業務委託、講師派遣事業)	通年	佐賀県内各所	2人	関係者 500名 聴衆者 2500名	1,628
	小計					7,662
奨学金事業	奨学金支給	通年	タイ : クーキャオ校・ノンハーン校・大学生 スリランカ: サンガミッタ女子校 ミャンマー: タンボジ青少年育成センター・ シャン州ホッポン・シーサイン・ピンラウンタ ウンシップ	5人	タイ受給生 38名 スリランカ受給生 30名 ミャンマー受給生 50名	2,524
	スタディツアー	3月	スリランカ	2人	日本人参加者1名・現地交流生徒・ 保護者・教師167名	343
	その他(チャリティーショップ・さとおや交流会・世界とツナガル! 国際協力セミナー)	通年	佐賀市内	5人	日本人参加者延べ50名	2
	小計					2,870
ミャンマー事業	循環型共生社会の自立発展事業 (JICA草の根パートナー型)	通年	タウンジーT/S、チャウタロンサブT/S、セレー、ナウンカ、ハムシー地区	6人	左記3地区に住む農民約25,000名	1,509
	農業支援	通年	タウンジーT/S、チャウタロンサブT/S、セレー、ナウンカ、ハムシー地区	6人	左記3地区に住む農民約25,000名	(198)
	チャウタロン給水事業 (外務省NGO連携無償資金事業)	～7月	チャウタロンサブT/S、1町3村落郡	6人	対象地域の住民約12,500名	62,455
	シーサイン農業環境及び水環境整備事業 (外務省NGO連携無償資金事業)	通年	チャウタロンサブT/S、1町3村落郡	6人	対象地域の住民約15,000名	
	レーエインコン/シーサイン緑化事業 (みどりの募金)	通年	ニャウンシュエT/S、タンボジ村落群、レーエインゴン村・シーサインT/S、	6人	対象地域の住民約15,200名	2,165
	環境教育事業 (エコポイント)	通年	ニャウンシュエT/S、タンボジ村	6人	タンボジ寮生16名	48
	モリンガを活用した循環型農村づくり事業 (地球環境基金)	通年	シーサインT/S、ロイプツ村落郡	6人	対象地域の住民約800名	715
	ナンコッ幼稚園建設	10月～	ホッポンT/S、ナンコッ村	6人	保育園に通う70名及び保護者	4,703
	カウントー小学校建設	10月～	ピンラウンT/S、カウントー村	6人	学校に通う60名及び保護者	
	ロンター小学校建設	1月～	ホッポンT/S、ロンター村	6人	学校に通う30名及び保護者	
	タンボジ女性の自立支援事業 (ゆうちょ)	通年	ニャウンシュエT/S、タンボジ村落群	7名	タンボジ村の女性組合10名	116
	スタディツアー	通年	シャン州南部	5人	各ツアー参加者合計8名	646
	物販	通年	佐賀市、能古島	6人	参加者のべ1000名	107
	その他(NGOインターンプログラム、緊急支援等)	通年	シャン州、チン州	6人	約1,275名	1,143
	小計					73,413

平成27年度 国内事業報告

年間事業

2015年4月1日～2016年3月31日

5月9日～10日：国際交流フェスティバルin能古島@能古島

5月23日：第14回通常総会@佐賀商エビル

10月3日：さがんなか祭り・さが国際フェスタ@佐賀商エビル

12月2日～3日：九州グリーン・ツーリズムシンポジウム2015IN佐賀

12月22日：ランチでツナガル！国際協力セミナー@佐賀商エビル

1月27日～2月3日：TOMODACHI100（日中韓大学生交流事業）

TOMODACHI100（日中韓大学生交流事業）

3年目になるTOMODACHI100はこれまでよりも最多の参加者と協力者によって実施致しました。中国・韓国の参加者は中国より28名、引率の先生が5名、韓国より10名の参加がありました。また、佐賀大学や西九州大学等からサポータースタッフとして41名の参加でした。活動内容は、ホームステイや企業訪問、日本文化体験などを行いました。今回も帰国の時には涙のお別れとなりました。参加した学生の満足度は非常に高いものでした。それは、ホストファミリーの方々や日本人学生のおもてなしのお陰であったかと思います。帰国後も、双方での連絡を取り合い交流が継続しているとのことです。これからの日中韓の友好の形づくる交流事業となりました。

NEW

九州グリーン・ツーリズムシンポジウム2015IN佐賀大会

佐賀のグリーン・ツーリズム推進のため、当会が事務局となり、佐賀県と連携してグリーン・ツーリズムの佐賀大会を実施しました。佐賀県内のグリーン・ツーリズムの協議会がある佐賀市、唐津・玄海、伊万里市、鹿島市、吉野ヶ里町の5の地区の方々と一緒に話し合いを進めてきました。参加者は主に九州圏内からグリーン・ツーリズム実践者が参加しての研修になります。今回は400名以上の方が佐賀を訪れました。2日間に渡ってイベントはありましたが、1日目は各5地区で受け入れての体験事業や農家民泊などを行いました。2日目は会場を唐津に移し、シンポジウムや食の大交流会が行われました。参加者からのアンケートでは、「地元の食材を使った料理に大変満足した。」「スタッフのおもてなしに感動した」などの感想をいただくことができました。佐賀県内でも初めて5地区が連携しての活動になり、横のネットワークの繋がりのできた事業となりました。

ランチでツナガル！国際協力セミナーを実施しました

ミャンマーに駐在している柴田理事の一時帰国に合わせて開催し、参加者と一緒にミャンマー料理を作り、その後は柴田理事の講演を行いました。参加者は会員の方以外も多く、イベント後は会員になっていただくなど、当会を認知・理解していただく機会になりました。

2016年の事業も引き続きご支援をお願いします

毎年多くの方々のご協力をいただき活動を行っております。今年度も会員の皆さまやサポートして下さる方々が参加しやすい活動を行っていきます。



北欧の地域づくりや教育について（総会イベント）



日本の文化を学びました（TOMODACHI100）



400名以上の参加でした
（グリーン・ツーリズム）



佐賀県唐津市のおもてなし
（グリーン・ツーリズム）



ミャンマー料理を作りました
（国際協力セミナー）

平成27年度 佐賀市中山間地域づくり事業報告

活動報告

2015年度の活動は、昨年度よりも行政や地域の方々と連携しての事業実施となりました。また、新たな集落での活動もでき、活動地域も増やすことができました。

オリーブの森事業

2014年から実施しているオリーブの森事業は2015年度も参加者の方々と一緒に管理作業から植樹まで行いました。

毎回30名～40名程度の方々に参加をしてもらい、地域の方や地元の役場との方々と協働で活動を実施しています。

2016年3月6日に行われました、植樹祭の時には吉野ヶ里町長、隣町のみやき町長も応援に来ていただき記念植樹を行っていただきました。

何より、2015年度は担い手として地域の方が中心となって「吉野ヶ里オリーブ会」を結成し、今後の継続的な仕組みを構築することができました。

佐賀市の中山間地域の空き家対策事業

佐賀市富士町を中心に空き家対策事業として、移住・定住のサポートを行いました。佐賀市富士町も高齢化の影響で空き家、耕作放棄地が増え、子供が減り、学校が統合、集落の祭りなども段々少なくなっている状況にあります。

そこで、地元の自治会長や役場の方々、地域の方々とチームを組み、地域の受け入れ体制や今後の地域の未来の姿を考えるワークショップやイベント等を行ってきました。1年間で佐賀市富士町古湯集落で10家族の移住者が移り住んでこられました。また、新たな地域として佐賀市富士町麻那古集落では、空き家を活用した交流の拠点づくりを佐賀大学生と一緒に行いました。佐賀大学生と一緒に掃除して、体験イベントを3回実施しました。体験イベントでは、地域のものを使った料理作りやフットパス(町歩き)を行い、地域のへのファンづくりを行いました。

雪国ふるさとステイ NEW

冬のキャンプ事業として、佐賀・福岡から募集した小学生・中学生と福井県で冬山キャンプを行いました。日程の問題もあり、少人数の参加になりましたが九州の山では体験できない本格的な冬の山を体験することができました。少人数の実施で一時は中止の方向もありましたが、2015年度実施したことで来年度に続く事業となりました。

夏休み子どもふるさとステイ2015

4年目になる夏休みの子どものキャンプは佐賀県内、福岡市内から119名の参加がありました。毎年参加してくれている小学生もあり、地元の方とも顔なじみになり、キャンプ以外でも富士町に遊びに来るようになったと言っていました。

また、毎年キャンプを楽しみにしている地元の方も多くなり、以前よりも地域の方の参画が増えました。他の集落からも見に来る人もおり、少しずつですが周りへの波及効果が生まれてきました。



植樹の様子(吉野ヶ里オリーブ)



空き家の改装はボランティアさんの手で
(空き家対策事業)



クヌギのオーナー制度のイベント
(佐賀市富士町麻那古イベント)



雪国を楽しみました(雪国ふるさとステイ)



みんなで餃子づくり(夏休みふるさとステイ)

平成27年度 奨学金事業報告

平成27年(2015年)度 奨学金支給状況

奨学金名	支給先	支給学生数	これまでの総数
タイ・地球市民奨学金 (中～高校生)	ウドンタニ県 クーキャオウィッタヤ校	21名	1990年～2015年で 3,473名
タイ・新地球市民奨学金 (高校生)	ウドンタニ県 ノンハーン校	15名	2013年～2015年で 25名
タイ・新地球市民奨学金 (大学生)	ノンハーン校卒業生	2名	2014年～で
ミャンマー・タンボジ奨学金	タンボジ青少年育成センター	14名	2014年～で 20名
ミャンマー・地球市民奨学金	シャン州ホップン・ピンラウン・ シーサインタウンシップ	36名	2015年より開始
スリランカ・シショダヤ奨学金	ゴール市 サンガミッタ女子校	30名	1998年～2015年で 125名
総計		118名	1990年～2015年で 3,659名

地球市民の会の奨学金事業では、284口・190名のさとおやさんにご支援を頂き、118名の子どもたちへ支援を届けることが出来ました。今年も真心溢れる子どもたちへのご支援、ありがとうございました。

各地域にて、子どもたちにとって一番いい形での奨学金が届けられるように、新規地域での支援開始や中学生から高校生へ支援の移行をしています。

タイ～中学生への奨学金支援が終了を迎えました！

この春、当会が支援する最後の中学生が無事に卒業を迎えました。1990年、タイで初めての奨学金支援をクーキャオ校で始めた当初は、中学進学率が8%でした。「最低限の教育を子どもたちが受けられるように」と、奨学金支援を行ってきた26年の間に、奨学金を受けて母校に戻った教師や、日本企業に就職した方など、多くの人材が巣立っています。

今度は彼らが「地球市民」として、それぞれの地域、社会で活躍していきますので、あたたかく見守りいただけますと幸いです。



クーキャオ校の卒業生



スリランカ・サンガミッタ女子校のシショダヤ奨学生

スリランカ～奨学金受給生が増えています

2011年より、奨学金受給期間を2年から約4年(3年8か月)に延長しました。今回、4年間受給した奨学生が初めての卒業を迎え、最難関である医学部に合格する優秀な人材も輩出されています。

NEW

ミャンマー～地域での奨学金を拡充して教育機会を創出しています

シャン州の3つのタウンシップ、ホップン・シーサイン・ピンラウンにて高校生への奨学金を開始しました。各地域12名ずつ選抜された子どもたちが奨学金を受給し、高校に通って学んでいます。

実施地は、軍事政権時代に外国人が立ち入り禁止だった地域です。内戦が最近まで起こっていた、山岳地域で農作物が豊富には出来ない等、地域の課題がある中で、「勉強したい」と願う子どもたちに届けています。



ミャンマー・地球市民奨学金初めての授与式

卒業生の活躍

スリランカ・シショダヤ奨学金/アキラさん2010-2012年奨学生

私は現在、ケラニア大学で日本語専攻をして勉強をしています。日本のさとおやさんにはご支援をいただき、ありがとうございました。さとおやさんとは、日本語で手紙を書いて交流が出来、卒業しても手紙のやりとりをしています。将来は、日本語を活かして働き、日本とスリランカを結ぶ仕事をしたいです。

奨学金受給生の声

ミャンマー・タンボジ奨学金/クン・リン・シェイン・テツさん2014-2015年奨学生

僕はこのセンターで生活している9年生です。このセンターに通うことができてうれしいです。日本のお父さんお母さんが支援してくださり、うれしいです。

お父さんお母さんが健康で豊かでありますようにいつもお祈りしています。いろんな民族の仲間と、タンボジ寮で一緒にすごせることはうれしいです。

10年生試験を良い成績で合格できるよう、勉強を頑張っています。



左: アキラさん



クン・リン・シェイン・テツさん、タンボジ寮にて

スリランカ事業地訪問

3月5～11日、さとおや会員1名と共に地球市民の会の5年振りのスリランカを訪問しました。現地ではサンガミッタ女子校訪問や奨学生の家庭訪問、インタビューや学生たちとの文化交流を実施しました。

今回の訪問では、奨学生の保護者や卒業後の様子をインタビューすることが出来、奨学金の「精神面での支えになる」という大きな成果を確認すると共に、保護者や卒業生の協力を得ることで、スリランカでの友好の輪が更に広がる訪問となりました。

「今後も、奨学金・交流を通じて地球市民の輪を広げていこう」と確認し合いました。

(助成: 西日本国際財団)



スリランカの学生たちと折り紙体験

子どもたちへ笑顔を届ける

チャリティショップ ばーん・たわん

アジアの子どもたちの為のチャリティショップばーん・たわん、2015年度も多くの方のご寄付と支援に支えられ、運営できました。月1～2回ボランティアグループの皆さんにお越しいただき、市民の力で運営が出来、活動継続が出来ています。

《平成27年(2015年)4月～

平成28年(2016年)3月》

売上点数: 222点

寄付者数: 21名+1企業

ボランティア参加者: 25名

売上: 137,372円

《ご協力いただいている企業様》

・(有)ニューポーン新古賀 さま

・小松商店金属部 さま

・損害保険ジャパン日本興亜(株)

佐賀コールセンター室 さま

・楽天オークション株式会社 さま



ニューポーン佐賀店さんに並ぶ寄付商品

さとおや交流会・ボランティアデー

年間を通じてさとおやさんをはじめとするボランティアの参加をいただきました。

8月にはさとおや交流会として、現地訪問報告や里子へのメッセージ作成を皆で行いました。人それぞれの出来る方法で、当会の事業を支えていただいています。



さとおや交流会

2011年より、奨学金事業は大きく変わってきています。タイ・スリランカからミャンマーへ輪が広がり、中学支援から高校支援へと、「今、子どもたちにどんな支援が必要なのか」を追求し、形を変えています。しかし、根本の「子どもたちのために」「地球市民として出来ることを」という思いは変わりません。

2016年は、スリランカの招へい事業もあります。奨学金を通じて、「地球市民」としてのお互いを思いやる心を日本とタイ・ミャンマー・スリランカ双方で、育てていきたいと思っています。

● 農業畜産業支援

310人が農業研修を受講し、30世帯が平均約3万円収入向上しました

循環型共生社会の自立発展(JICA草の根技術協力パートナー型)事業

JICA草の根技術協力パートナー型によって2012年から3ヶ年取り組んだ農民たちの共同集荷・出荷システムの構築事業。3つのエリアで生産者組合ができ、農産物をヤンゴンに出荷・アンテナショップで販売しています。現在出荷農家は30世帯に増え、50万円の売上げがあがるようになりました。(助成:独立行政法人国際協力機構)

循環型農業研修

ナウンカセンターで循環型農業7日間研修を9回実施し、117名が参加しました。これまで研修実施87回、参加累計人数は1,287名にのぼります。また、JAグループ佐賀様や外務省の支援で1日～2日研修を行い、参加人数は173名でした。JA佐賀様からは、農業畜産業の振興のための支援もいただき、3村の給水事業を実施しました。

ナウンカ長期研修

今年度も農村青年10名を対象として、循環型農畜産業の研修を主体に、食品加工、キノコ栽培、機械整備、洋裁、会計などを学ぶ3か月間の研修を行いました。今回はカチン州という遠方からの参加者も2名いました。研修生の何人かは、研修修了後も1日研修の講師助手として活躍してくれています。



ヤンゴンのアンテナショップ



村での循環型農業研修

● 開発支援

11,356人が安全で十分な飲料水にアクセスできるようになり、1,110人が衛生知識を身につけました

シャン州山岳少数民族の飲料水・衛生環境の改善事業

飲料水の確保が困難なパオ族の山岳地域にて、2,113世帯に対し衛生的な水を配水するためのプロジェクトを昨年10月より開始し、7月に完成しました。約11,356人が衛生的な水にアクセスできるようになりました。水が各地域に配水されたことで、往復1～2時間の水汲み労働の負担が軽減され、乾季の水不足からおこる、下痢や皮膚病等も改善する見込みです。給水施設の整備とともに、基礎的な衛生知識の研修を行い今後、地域の衛生環境の改善につながるよう見守っていきます。

(外務省日本NGO連携無償資金協力)

シャン州山岳少数民族地域における農業環境及び水環境整備による

生活改善事業

2015年度より新たに活動を始めたシーサイン・ピンラウンという2地域において3ヶ年かけて行う事業です。1.2年目は農シーサインにおいて飲料水の配水と業灌漑整備、3年目はピンラウンという険しい山岳地域で飲料水の配水を行い水を中心とした生活環境の改善を目指します。また3年通じて農業の生産性向上を目指して循環型農業研修を行うことで、あわせて農村地域の人々の生活が良くなることを目標にしています。

(外務省日本NGO連携無償資金協力)

● 環境保全

17,201本の植林を行い、311人が環境教育研修を受講しました

山岳少数民族地域(レーエインゴン村)における学校林造成及び環境教育事業

環境破壊が進むインレー湖や周辺の緑化、環境保全のためにインレー湖水源の村において植林と環境教育を行いました。村の共同地に村のみんなで7098本の植林を行いました。また、こどもたちが理解しやすいよう環境教育DVDを作成、のべ150人の親子が学びました。

(国土緑化推進機構「緑の募金」)



循環型農業研修の修了生



保健衛生研修の様子



シーサイン水タンク建設

モリンガを活用した緑化と循環型農村作り

NEW

新事業地における3ヶ年の事業です。2015年度はシーサインにおいて事業を開始。生育が早く、CO2吸収率が高い上に、葉や鞘が食用可能で栄養価が高いことからミラクルツリーよばれる「モリンガ」という木を活用した事業です。①モリンガ植林②伐採を減らし植林を促す環境教育③緑化委員会の組織と、モリンガオイル搾油による緑化基金の創出④循環型農業研修とモリンガを活用した堆肥実験の4つの活動を行いました。2月にはモリンガの加工品を学びに数名でフィリピンにも行きました。目標は、モリンガによる緑化・CO2削減とあわせ、加工品による収入向上です。

(環境再生保全機構「地球環境基金」)



植林用の苗木運搬

NEW

水源涵養コミュニティ林造成及び水源涵養啓発事業

シーサインにて2015.7～2016.6の事業期間で実施しています。昔から地域で使っている水源周辺で木々が伐採され、水量の減少が問題になっていました。そこで、地域の要望もあり水源涵養のための植林を実施しました。2月には日本の専門家を派遣し、環境教育を行いました。模型をつかい、分かりやすく森の役割を講義してもらい大好評でした。

(国土緑化推進機構「緑の募金」)



スタッフ対象に森の研修

● 教育支援・人材育成

1校の小学校建設が完了し、60人のこどもが安全な校舎で教育を受けられるようになりました。また、小学校1校と幼稚園1校を建設も完了間近です。

学校建設・幼稚園建設

学校2校、幼稚園1舎の建設事業を実施しました。

NEW

＜カウントー小学校＞少数民族リス族の村で、老朽化した校舎が危険だったため、新校舎を建設しました。(大阪コミュニティ財団、鶴田雅敏氏、森誠氏、鍋島洋一氏)
＜ロンター小学校＞パオ族の村。老朽化した校舎を取り壊し、新校舎を現在建設中です。(坂井邦夫氏)

＜ナンコツ幼稚園＞もともと村にあった幼稚園は狭く、建物も老朽化して危険だったため、新園舎を建設しています。(三井住友銀行ボランティア基金)



タンボジ女性の食品加工

農村女性の生計向上のための食品加工・手工芸技術指導

2013年度から開始した農村女性のエンパワーメント事業です。農村で現金収入を得る機会の少ない女性たちが職業訓練を通じて食品加工や手工芸の技術を身につけ、収入を手にかけています。昨年度は食品加工、石鹸づくり、蜜蝋キャンドルづくりなどの研修を実施しました。また、2名がヤンゴンに先進地視察に出かけました。

(助成・ゆうちょ財団)



完成したカウントー小学校

● 交流

81人がミャンマーの事業地を訪れ、国際理解を深めました。

スタディツアー・視察ツアー

鹿児島大学、佐賀大学、そして東洋大学も加わり3校の大学生の研修を受入れました。3月には当会のツアーも実施。ホームビジット等で交流を深めたほか、国際協力の現場をみてもらう機会となりました。また、ミャンマー日本人学校の親子を対象とした農業の体験ツアーも始まり、ミャンマーのサイトが教育の場となってきています。



2016年3月TPAツアー

● プロジェクトマネージャー・柴田より

2015年度の大きな事業としては、「水」をキーワードとしてインフラ整備を実施するとともに研修なども実施し、大きく生活環境や農業環境の改善を目指しました。農業分野では今まで地道に進めてきた活動を継続しての研修の実施、昨年度に引き続き付加価値をつけた販路の開拓・拡大にも力を入れました。また、目標にしてきた「活動と組織の現地化」を念頭に置き、ミャンマー人スタッフへの仕事の移行を進めていきました。スタッフが順調に育ってきており、今後できることはミャンマー人スタッフにどんどん任せていきたいと思っています。農業従事者が6割を超えるミャンマー。民主化後、地方にも大きな時代の流れが波及してきていますが、農村生活の向上は、ミャンマーの将来を考える上でとても重要なポイントだと思っています。少しでも貢献できるよう、皆様のご協力の下、今後もスタッフ一同力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

決 算 報 告 書

第 32期

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

特定非営利活動法人 地球市民の会

佐賀県佐賀市高木町 3－1 0

～地球市民の会の健康状態(貸借対照表から)～

● 健康状態はほんの少しかすかな光が見える状況になりました。

ここ数年、大型案件であるミャンマーの ODA(政府開発援助)事業の補助金が年度をまたいで続いているため、流動性は非常に高い数値で推移しています。事業に直接投下する資金は十分に確保されており、お預かりしている浄財を確実に意義あるものに投入することができる状況にあります。また、これら使途の決まっている資金を差し引いた手元の正味財産は15ページの財務諸表の注記の「5. 使途が制約されている寄付等の内訳」にあるように、398万円あり、この金額は2か月分の固定経費の同等額です。短期には不安のない状況であるといえますでしょう。

とはいえ、安心できる安定状況にあるほどの剰余的な資金があるわけではなく、間接的な経費を簡単に使える状態ではありません。人材を増やしてもっと質の高い事業にしたいという希望はありますし、職員の負担を減らしたり、職員の能力向上のための資金や事業の研究、調査を実施したりという資金が無いというのは、当会の悩みでもあります。

組織の健全維持やより質の高い事業の実施のための資金調達を実施していく課題が今後も続いていきますので、組織としての取り組みが必要です。

～地球市民の会の昨年の通信簿(活動計算書から)～

● 今年の通信簿は例年並みですが、内容が改善されてきつつあります。

32 期(14 期)はここ数年の当会のトレンドと同様な活動がなされました。活動規模に関していえばミャンマー事業が地球市民の会の主たる事業であることは変わりありません。ミャンマーでは民主化や政権交代などもあり、日本政府のミャンマーに対する積極的な支援という方向性に当会の提案する ODA(政府開発援助)事業が採択されやすい傾向にありました。そのため、戦略的に助成金を獲得してきました。いまだ、外部からの支援の届かない、なおも開発の遅れた活動地域に展開できたことは意義深い活動となりました。

新規事業として取り組んできた国内事業のボリューム感が安定して1000万円規模で推移してきました。また、奨学金・タイ・スリランカ事業も事業内容の見直しに積極的に取り組んできたことが結果として見えるようになってきており、前年度に単事業としてマイナス215万円の赤字をマイナス51万円まで圧縮することができました。ミャンマー事業への依存度の比率を下げるべく、他の事業も貢献できるようになりつつあるといえるでしょう。

理想の財務バランスと比べると、数字上は平成26年度以降からほぼ変わりのない状況は残念な結果となっていますが、上記のように少しずつ内容に変化が出てきましたので次のステップに向けて改善傾向にあると見るができます。

新たな中期経営計画(2016年～2018年)も策定されましたので、自立性及び持続性の高い財務内容にするべく、本年度も取り組んでいく必要があります。

参考資料～収入バランスのチェック～

収入比率と推移は以下の通りです。

	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	理想①
会費・寄付収入	21%	29%	12%	13%	11%	40%
委託金・助成金収入	71%	57%	81%	80%	82%	40%
自主事業収入	8%	14%	7%	7%	7%	20%
総収入金額	91,012,431	53,862,736	110,352,912	84,568,763	110,647,830	1 億円

貸借対照表

平成28年(2016年) 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,803,781		
未収金	145,240		
立替金	12,774		
ミャンマー事業未使用資金	17,089,204		
流動資産合計		47,050,999	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			47,050,999
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	730,588		
シヨダヤ前受金	264,000		
タソボ前受金	432,000		
タイ高校新前受金	48,000		
タイ大学新前受金	24,000		
ミャンマー地球市民前受金	288,000		
預り金	444,803		
仮受金	56,923		
流動負債合計		2,288,314	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,288,314
III 正味財産の部			
1. 正味財産			
前期繰越正味財産額		43,306,517	
当期正味財産増減額		1,456,168	
正味財産 計			44,762,685
負債及び正味財産合計			47,050,999

特定非営利活動法人 地球市民の会

活動計算書

平成27年(2015年)4月1日から平成28年(2016年)3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	2,241,000		
賛助会員等受取会費	933,000	3,174,000	
2.受取寄付金			
受取寄付金 本部	893,379		
受取寄付金 事業	8,269,264	9,162,643	
3.受取助成金等			
受取民間助成金	6,341,948		
受取公的助成金	80,794,514		
受取民間委託金	267,500		
受取公的委託金	3,533,842	90,937,804	
4.事業収益			
国内事業収益	6,155,685		
奨学金事業収益	2,163		
タイ・スリランカ事業収益	323,168		
ミャンマー事業収益	890,583	7,371,599	
5.その他収益			
受取利息	1,584		
雑収益	200	1,784	
経常収益計			110,647,830
II 経常費用			
1.事業費			
(1) 人件費			
給料手当	13,169,782		
法定福利費	1,273,622	14,443,404	
(2) その他経費			
直接事業費	83,946,685		
間接事業費	1,862,587	85,809,272	100,252,676
2.管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,873,320		
法廷福利費	280,005		
福利厚生費	111,200	3,264,525	
(2) その他経費			
印刷製本費	180,824		
会議費	7,140		
旅費交通費	58,142		
研修費	101,500		
通信運搬費	218,220		
消耗品費	98,589		
水道光熱費	41,372		
地代家賃	234,800		
賃借料	63,000		
保険料	46,440		
諸会費	131,000		
租税公課	1,037,150		
支払手数料	72,496		
支払利息	420		
雑費	21,800	2,312,893	5,577,418
経常支出計			105,830,094
経常収支差額			4,817,736
ミャンマー未使用資金戻入損			2,028,096
寄付物品売却損			1,252,472
法人税、住民税及び事業税			81,000
当期正味財産増減額			1,456,168
前期繰越正味財産額			43,306,517
次期繰越正味財産額			44,762,685

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は現有しておりませんので減価償却はなされておられません。所有した際は法人税法の規定に基づいて定率法で償却をします。無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をします。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4) 消費税等の会計処理

税込経理方式によって行います。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は添付別紙資料の通りです。

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

施設の提供等の物的サービスの受入の状況は以下の通りです。

内 容	金 額	算 定 根 拠
支援酒米輸送代	194,400	(株)トワード様より 岩手県⇒佐賀県みやき町 40 袋
支援酒ラベル和紙代	48,600	肥前名尾和紙様より 10 匁 50 枚

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

内 容	金 額	算 定 根 拠
事務作業 補佐 延 276 名 合計 707 時間	484,466	単価は佐賀県の最低賃金/時給(678 円：平成 27 年 10 月 4 日から 694 円)によっています。事務補佐の内訳は当会事務局に別途設置されているボランティアサポート台帳にあります。
ふるさとステイキャンプ事業 補佐 延 60 名 合計 600 時間	406,800	
イベント補佐 延 40 名 合計 384 時間	260,352	
TOMODACHI100 補佐 延 288 名 合計 1152 時間	799,488	
雪ふるステイ 補佐 延 20 名 合計 240 時間	166,560	
合 計	2,117,666	

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 44,762,685 円ですが、そのうち 40,782,014 円は下記事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は 3,980,671 円です。

内 容	期末残高	備 考
奨学金	1,056,000	タイ・ミャンマー・スリランカ前受金
スリランカ高校生招へい事業	670,000	前川報恩会・きょうぎん未来基金
タイ教育基金	740,744	ばーん・たわん売上・タイ教育基金寄付
シャン州山岳少数民族地域における農業環境及び水環境整備による生活改善事業	21,226,066	2015 年度外務省日本 NGO 連携無償資金協力
ミャンマー未使用資金	17,089,204	ミャンマーに送付済みの事業資金の現地有り高
	40,782,014	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減はありません。

7. 借入金金の増減内訳

借入金金の増減はありません。

8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

特定非営利活動法人 地球市民の会
平成27年(2015年)度事業別損益計算書

単位:円

	国内事業	ミヤマー事業	奨学金事業	本部管理部門	計
I 経常収益					
1. 会費収入				3,174,000	3,174,000
2. 寄付収入	424,250	3,905,801	3,939,213	893,379	9,162,643
3. 助成金収入	2,059,963	84,206,499	870,000	0	87,136,462
4. 委託金収入	3,589,418	211,924			3,801,342
5. 事業収入	6,155,685	890,583	325,331		7,371,599
6. その他収入				1,784	1,784
経常収益計	12,229,316	89,214,807	5,134,544	4,069,163	110,647,830
II 経常費用					0
1. 直接事業費	7,662,081	73,413,956	2,870,648		83,946,685
2. 人件費	2,854,494	9,349,369	2,239,541	3,264,525	17,707,929
給与手当	2,532,016	8,684,966	1,952,800	2,873,320	16,043,102
法定福利費	322,478	664,403	286,741	280,005	1,553,627
福利厚生費				111,200	111,200
3. その他の経費	638,876	665,495	558,216	2,312,893	4,175,480
旅費交通費				58,142	58,142
通信運搬費	165,522	172,419	144,832	218,220	700,993
消耗品費				98,589	98,589
印刷出版費	144,659	150,686	126,576	180,824	602,745
研修費				101,500	101,500
水道光熱費	33,098	34,477	28,961	41,372	137,908
賃借料	50,400	52,500	44,100	63,000	210,000
保険料				46,440	46,440
租税公課				1,037,150	1,037,150
地代・家賃	187,200	195,000	163,000	234,800	780,000
支払手数料	57,997	60,413	50,747	72,496	241,653
会議費				7,140	7,140
諸会費				131,000	131,000
支払利息				420	420
雑費				21,800	21,800
経常支出計	11,155,451	83,428,820	5,668,405	5,577,418	105,830,094
経常収支差額	1,073,865	5,785,987	-533,861	-1,508,255	4,817,736

財 産 目 録

特定非営利活動法人地球市民の会

平成28年(2016年) 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金 預金	29,803,781	未払金	730,588
現金 現金手許有高	53,878	レンタルサーバ代 3月分 (株) フライム	1,620
小口現金 タイバーツ パーツ	70,609	社会保険料 3月分 法人負担分	111,224
普通預金	27,297,144	3月分電話負担分 古賀英語道場	3,316
佐賀銀行本店営業部 1506171	2,345,830	スリランカツアーキャンセル戻し分	263,740
佐賀銀行本店営業部 2675887	9	別納郵便 日本郵便株式会社	35,688
佐賀銀行本店営業部 N連 3078142	23,853,850	業務委託料 3月分 一社)アイオーイー	100,000
佐賀銀行本店営業部 N連 3097093	109,100	地方創生返還金 佐賀市市民生活協働課	215,000
佐賀共栄銀行本店営業部 02486293	935,394	スリランカ シンヨダヤ奨学金前受金	264,000
三井住友銀行 0362355	52,961	H28年度分	132,000
郵便振替	2,382,150	H29年度分	72,000
未収金	145,240	H30年度分	48,000
スリランカツアーキャンセル返金 (有)スクエア	145,240	H31年度分	12,000
立替金	12,774	ミャンマー タンボジ奨学金前受金	432,000
ミャンマー種子代	8,424	H28年度分	372,000
佐賀県協力隊を育てる会	4,350	H29年度分	60,000
ミャンマー事業未使用資金	17,089,204	タイ高校新奨学金前受金	48,000
流動資産合計	47,050,999	H28年度分	36,000
資産合計	47,050,999	H29年度分	12,000
		タイ大学新奨学金前受金	24,000
		H28年度分	12,000
		H29年度分	12,000
		ミャンマー地球市民奨学金前受金	288,000
		預り金	444,803
		理事慶弔費	187,931
		社会保険料	111,224
		源泉所得税	91,682
		市県民税	22,600
		その他の預り金	31,366
		仮受金	56,923
		ミャンマーモニタリング費用2～3月分 三富実業(株)	52,123
		ミャンマーコーヒー生豆販売 むぎわらや	4,800
		流動負債合計	2,288,314
		2. 固定負債	
		固定負債合計	0
		負債合計	2,288,314
		正味財産	44,762,685
		負債及び正味財産合計	47,050,999

特定非営利活動法人地球市民の会

前年対比貸借対照表

平成28年(2016年)3月31日現在

単位:円

資産の部			負債の部		
科目	前期残高	当期残高	科目	前期残高	当期残高
現金	160,382	53,878	未払金	3,113,636	730,588
小口現金		70,609	前受金	51,026	
普通預金	25,990,453	27,297,144	ケーチャオ中前受金	96,000	0
郵便貯金	685,338	0	ケーチャオ高前受金	24,000	0
郵便振替	135,336	2,382,150	シヨダヤ奨学金前受金	160,000	264,000
現金預金合計	26,150,835	29,803,781	タノボジ奨学金前受金	240000	432,000
寄付物品	1,263,992	0	タイ高校新前受金	48000	48,000
未収金	1,012,747	145,240	タイ大学新前受金	36000	24,000
立替金		12,774	ミャンマー地球市民奨学金		288,000
ミャンマー未使用資金	19,117,300	17,089,204	預り金	469,695	444,803
流動資産合計	47,544,874	17,101,978	仮受金		56,923
固定資産合計	0	0	流動負債合計	4,238,357	2,288,314
			固定負債合計	0	0
			負債合計	4,238,357	2,288,314
			正味財産	43,306,517	44,762,685
資産合計	47,544,874	47,050,999	負債・正味財産	47,544,874	47,050,999

特定非営利活動法人地球市民の会

平成27年(2015年)度 予算決算対比活動計算書

自 平成27年4月1日 至平成28年3月31日

【経常収入の部】	26年度決算	27年度予算	27年度決算	【経常支出の部】	26年度決算	27年度予算	27年度決算
本部収入	4,460,264	4,600,000	4,069,163	国内管理費	5,349,163	5,228,577	5,577,418
会費収入	3,264,000	3,300,000	3,174,000	直接事業費	547,385	1,208,577	0
寄附金収入	1,192,227	600,000	893,379	人件費	3,486,677	2,120,000	3,264,525
その他収入	4,037	50,000	1,784	その他管理費	1,315,101	1,900,000	2,312,893
事業収入		650,000		収支計	-888,899	-628,577	-1,508,255
国内事業収入	12,781,525	14,819,824	12,229,316	国内事業費	10,256,997	14,895,104	11,155,451
寄附金収入	607,979	0	424,250	直接事業費	6,230,470	8,195,104	7,662,081
補助金・助成金等収入	1,874,820	1,492,960	2,059,963	人件費	3,052,706	5,700,000	2,854,494
委託金収入	5,664,861	8,326,864	3,589,418	その他管理費	973,821	1,000,000	638,876
事業収入	4,633,865	5,000,000	6,155,685	収支計	2,524,528	-75,280	1,073,865
奨学金事業収入	5,318,681	7,074,000	5,134,544	奨学金事業費	7,475,972	10,222,300	5,668,405
寄付金収入	3,892,489	4,794,000	3,939,213	直接事業費	4,729,790	6,622,300	2,870,648
助成金収入	780,000	800,000	870,000	人件費	2,246,669	3,000,000	2,239,541
委託金収入	0	0	0	その他管理費	499,513	600,000	558,216
事業収入	646,192	1,480,000	325,331	収支計	-2,157,291	-3,148,300	-533,861
ミャンマー事業収入	62,008,293	79,060,000	89,214,807	ミャンマー事業費	56,683,078	112,598,919	83,428,820
寄付金収入	2,084,682	2,400,000	3,905,801	直接事業費	46,054,151	102,198,919	73,413,956
助成金収入	45,567,965	75,900,000	84,206,499	人件費	9,409,811	9,600,000	9,349,369
委託金収入	13,571,226	210,000	211,924	その他管理費	1,219,116	800,000	665,495
事業収入	784,420	550,000	890,583	収支計	5,325,215	-33,538,919	5,785,987
経常収入合計	84,568,763	105,553,824	110,647,830	経常支出合計	79,765,210	142,944,900	105,830,094
				当期経常収支差額	4,803,553	-37,391,076	4,817,736
				ミャンマー未使用資金戻入益	0	0	0
				寄付物品売却損	334,280	1,260,000	1,252,472
				ミャンマー未送金資金繰入損	4,303,553	0	2,028,096
				法人税、住民税及び事業税	81,000	81,000	81,000
				当期正味財産増減額	79,487	-38,732,076	1,456,168
				前期繰越正味財産額	43,227,030	43,306,517	43,306,517
				次期繰越正味財産額	43,306,517	4,574,441	44,762,685

5 期 連 続 損 益 比 較 表

事業	項目	H23/4～H24/3 23(2011)年度 第10期	H24/4～H25/3 24(2012)年度 第11期	H25/4～H26/3 25(2013)年度 第12期	H26/4～H27/3 26(2014)年度 第13期	H27/4～H28/3 27(2015)年度 第14期
管理部門	会費収入	0	3,198,000	3,192,480	3,264,000	3,174,000
	寄付金収入	0	4,155,652	1,608,543	1,192,227	893,379
	雑収入	0	39,810	779	4,037	1,784
	【収 入 計】	0	7,393,462	4,801,802	4,460,264	4,069,163
	直接事業費	0	0	0	547,385	0
	人件費	0	5,628,323	5,752,909	3,486,677	3,264,525
	その他管理費	0	1,889,126	1,761,309	1,315,101	2,312,893
	【支 出 計】	0	7,517,449	7,514,218	5,349,163	5,577,418
	【収 支 差 額】	0	-123,987	-2,712,416	-888,899	-1,508,255
国内事業	会費収入	3,389,000	0	0	0	0
	寄付金収入	281,425		110,100	607,979	424,250
	補助・助成金収入	-646,737		1,100,000	1,874,820	2,059,963
	委託金収入	6,410,000	2,102,812	2,090,696	5,664,861	3,589,418
	事業収入	4,798,127	4,914,368	6,669,662	4,633,865	6,155,685
	雑収入	4,179	0	0	0	
	【収 入 計】	14,235,994	7,017,180	9,970,458	12,781,525	12,229,316
	国内事業	2,848,469	2,968,651	5,967,662	6,230,470	7,662,081
	人件費	10,460,428	5,094,748	4,910,233	3,052,706	2,854,494
	その他管理費	2,741,435	905,240	1,189,549	973,821	638,876
	【支 出 計】	16,050,332	8,968,639	12,067,444	10,256,997	11,155,451
	【収 支 差 額】	-1,814,338	-1,951,459	-2,096,986	2,524,528	1,073,865
奨学金事業	寄付金収入	276,430	2,928,640	9,287,843	3,892,489	3,939,213
	補助・助成金収入	390,000	800,000	200,000	780,000	870,000
	事業収入	4,401,270	942,075	363,059	646,192	325,331
	【収 入 計】	5,067,700	4,670,715	9,850,902	5,318,681	5,134,544
	奨学金事業費	2,638,980	2,985,910	7,743,343	4,729,790	2,870,648
	人件費	2,062,620	2,455,067	2,034,270	2,246,669	2,239,541
	その他の管理費	409,580	458,916	555,570	499,513	558,216
	【支 出 計】	5,111,180	5,899,893	10,333,183	7,475,972	5,668,405
	【収 支 差 額】	-43,480	-1,229,178	-482,281	-2,157,291	-533,861
ミャンマー事業	寄付金収入	3,417,828	3,211,007	4,765,358	2,084,682	3,905,801
	補助・助成金収入	51,972,237	22,673,170	68,436,343	45,567,965	84,206,499
	委託事業	0	0	17248807	13,571,226	211924
	事業収入	1,389,390	1,729,000	564,738	784,420	890,583
	雑収入	0	564	0	0	0
	【収 入 計】	56,779,455	27,613,741	91,015,246	62,008,293	89,214,807
	ミャンマー事業支出	41,153,620	20,584,200	71,029,968	46,054,151	73,413,956
	人件費	6,104,869	6,983,132	7,190,074	9,409,811	9,349,369
	その他の管理費	604,598	653,734	829,746	1,219,116	665,495
	ミャンマー事業費繰入損	4,884,522	2,603,895	0	0	0
	【支 出 計】	52,747,609	30,824,961	79,049,788	56,683,078	83,428,820
	【収 支 差 額】	4,031,846	-3,211,220	11,965,458	5,325,215	5,785,987
韓国事業	自主事業収入	210,643	0	0	0	0
	助成金収入	1,768,094	0	0	0	0
	【収 入 計】	1,978,737	0	0	0	0
	事業支出	1,052,504	0	0	0	0
	【支 出 計】	1,052,504	0	0	0	0
	【収 支 差 額】	926,233	0	0	0	0
東日本大震災支援	寄付金収入	5,262,100	2,206,150	569,736	0	0
	補助・助成金収入	7,688,140	5,000,000	108,268	0	0
	事業収入	305	615	51,500	0	0
	【収 入 計】	12,950,545	7,206,765	729,504	0	0
	直接事業費	8,957,789	3,397,055	2,128,586	0	0
	人件費	1,801,982	2,639,267	0	0	
	その他の管理費	404,126	300,510	51,723	0	0
	【支 出 計】	11,163,897	6,336,832	2,180,309	0	0
	【収 支 差 額】	1,786,648	869,933	-1,450,805	0	0
経常収入合計		91,012,431	53,901,863	116,367,912	84,568,763	110,647,830
経常支出合計		86,125,522	59,547,774	111,144,942	79,765,210	105,830,094
経常収支差額		4,886,909	-5,645,911	5,222,970	4,803,553	4,817,736
当期計上増減額		0	7,552,486	24,543,779	-4,724,066	-3,361,568
繰越収支差額		6,666,797	11,553,706	13,460,281	43,227,030	43,306,517
次期繰越収支差額		11,553,706	13,460,281	43,227,030	43,306,517	44,762,685

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)貸借対照表
 2016年3月31日現在

単位:USドル(レート:1ドル=106.23円)

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現 金	26,341	95,273	前 受 金	12,446	17,984
銀 行 預 金	43,415	203,809	預 り 金	2,109	0
現金預金合計	69,756	299,082	仮 受 金	55,201	281,098
流動資産合計	69,756	299,082	流動負債合計	69,756	299,082
固定資産合計	0	0	固定負債合計	0	0
			負債合計	69,756	299,082
			正味財産	0	0
資産合計	69,756	299,082	負債・正味財産	69,756	299,082

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)収支計算書
 自2015年4月1日 至2016年3月31日

単位:USドル(レート:1ドル=106.23円)

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本 部 勘 定 収 入	88,080	事 業 費	85,819
外務省NGO連携	73,150	外務省NGO連携	73,150
ボランティア貯金	397	ボランティア貯金	397
その他の事業	10,457	緑の募金	375
スタディツアー	1,815	スタディツアー	1,815
管 理 費	2,261	GEERCA	4,044
		JICA	4,563
		緊急支援	1,475
		管 理 費	2,261
		給 与	2,255
		雑 費	6
経常収入合計	88,080	経常支出合計	88,080
		経常収支差額	0
		繰越収 支 差額	0
		次期繰越収支差額	0

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)貸借対照表
平成28年(2016年)3月31日現在

単位: チャット(レート: 1USD=1222チャット)

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現 金	13,290,101	2,031,542	預 り 金	1,175,350	1,175,350
普 通 預 金	73,267,253	872,400	仮 受 金	2,057,600	2,057,600
現金預金合計	86,557,354	2,903,942	小規模銀行基金	360,000	360,000
立 替 金	2,321,100	3,157,600	流動負債合計	3,592,950	3,592,950
短期貸付金	3,498,000	5,698,000	固定負債合計	0	0
仮 払 金	2,085,000	1,765,000	負債合計	3,592,950	3,592,950
流動資産合計	94,461,454	13,524,542	正味財産	124,064,004	43,127,092
保 証 金	430,500	430,500			
長期貸付金	32,765,000	32,765,000			
固定資産合計	33,195,500	33,195,500			
資産合計	127,656,954	46,720,042	負債・正味財産	127,656,954	46,720,042

ミャンマー(チャット)収支計算書
自平成27年(2015年)4月1日 至平成28年(2016年)3月31日

単位: チャット(レート: 1USD=1222チャット)

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	417,795,395	事 業 費	493,253,104
タンボジセンター	16,681,650	タンボジセンター	1,468,510
ナウンカセンター	176,800	ナウンカセンター	2,312,275
7日間農業研修	733,500	7日間研修	728,650
外務省NGO連携無償	306,267,045	外務省NGO連携無償	396,511,938
ナウンシンSDF	73,940	ナウンシンSDF事業	237,000
ボランティア貯	2,690,450	ボランティア貯金事業	4,185,545
スタディツアー	3,335,000	緑の募金	6,418,450
カウunter学校建設	14,564,560	スタディツアー	3,551,400
三井住友銀行ボランティア	8,149,900	カウunter学校建設	15,198,000
坂井プロジェクト	8,065,200	ライオンズクラブ学校建設	4,000
緑の募金・シーサイン	1,610,000	三井住友銀行ボランティア	8,035,000
管理費資金	15,744,010	坂井プロジェクト	8,150,000
GEERDA	9,461,200	モリンガプロジェクト	12,254,310
エコポイント	23,000	エコポイントプロジェクト	87,000
JA第2フェーズ	6,923,000	ヤンゴン野菜販売事業	2,344,050
JICA	112,300	JAさがグループ事業	7,150,000
タンボジ里親	8,620,650	JICA草の根パートナー	117,430
こんにゃく	74,750	タンボジ寮支援	9,195,940
パオ奨学金	3,519,000	ナッタミー事業	7,500
洪水緊急支援	9,409,440	グリーンヒル事業	2,283,356
物販収入(テキスト等)	106,000	報告会事業	115,250
研修参加費収入	210,000	こんにゃく事業	80,000
事業収入	4,920,090	パオ奨学金事業	3,630,000
タンボジ研修所物販	288,600	洪水緊急支援事業	9,187,500
ツアー受け入れ	2,947,800	管 理 費	12,892,143
肉 鶏 販 売	490,390	給料手当	9,680,000
モリンガ	197,600	福利厚生費	131,600
ヤンゴン野菜販売	148,125	会議費	350,850
ファンドレイジング	29,075	旅費交通費	16,000
タンボジ寮支援	261,000	補助員出張費	1,821,000
ナッタミー事業	557,500	通信費	40,155
寄付金収入	2,125,100	運賃	50,300
雑収入	51,750	備品費	15,500
		事務消耗品費	239,100
		印刷製本費	40,000
		水道光熱費	44,450
		車両借上費	431,000
		雑費	32,188
経常収入合計	425,208,335	経常支出合計	506,145,247
		当期収支差額	-80,936,912
		前期繰越収支差額	1,187,766,650
		次期繰越収支差額	37,839,738

財 産 目 録

2016年 3月31日現在

単位:USドル

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現 金 預 金	299,082
現金 現金手許有高	95,273
普通預金 MFTB	4,607
普通預金 KBZ	199,202
資産合計	299,082
【負債の部】	
流動負債	
前 受 金	17,984
事業手数料	1,861
ツアー手数料	14,383
寄付金収入	658
その他の事業資金	1,041
オープンPJ	41
仮 受 金	281,098
タンボジセンター	9,761
外務省NGO連携無償資金	195,532
坂井邦夫基金	82
その他の事業資金	13,731
スタディツアー	255
管理費	9,379
GEERCA	2,087
エコポイント	324
ファンドレイジング	546
JA第二フェーズ事業	4,189
JICA	24,883
TGB里親	15,008
インターンシップ	4,361
Wa U	829
流動負債合計	299,082
負債合計	299,082
正味財産	0

財 産 目 録

2016年 3月31日現在

単位:チャット

科目	金額
【資産の部】	
現 金 預 金	2,903,942
現金 現金手許有高	2,031,542
普 通 預 金	872,400
一般	176,551
特別	494,992
タウンジー	200,857
立 替 金	3,157,600
短 期 貸 付 金	5,698,000
Naung Sin SDF	200,000
Management Cos	5,498,000
仮 払 金	1765000
タンボジ研修センター	-520,000
ナウンカ研修センター	2,285,000
保 証 金	430,500
長 期 貸 付 金	32,765,000
養豚銀行	8,035,000
水牛銀行	17,500,000
ニンニク銀行	4,600,000
ナウンシン入植貸付金	1,130,000
その他の貸付金	15,000,000
その他の固定資産合計	34,295,500
資産合計	46,720,042
【負債の部】	
預 り 金	1,175,350
仮 受 金	2,057,600
養豚銀行	1,300,000
ナウンシン農業支援貸付	757,600
小 規 模 銀 行 基 金	360,000
流動負債合計	3,662,950
負債合計	3,662,950
正味財産	43,127,092
負債・正味財産	46,720,042

監 査 報 告 書

平成 28 年 5 月 17 日

特定非営利活動法人地球市民の会

理事長 山口 久臣 殿

監事 田 中 進 
監事 古 賀 和 夫 

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、2015 年度（2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人地球市民の会の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、2015 年度の特定非営利活動法人地球市民の会の財産の状況は適正なものと認められます。

以 上

事業計画及び予算

平成 28 年（2016 年）4 月 1 日～平成 29 年（2017 年）3 月 31 日

目 次

◆ 活動方針と重点項目	-P26
◆ 本年度の目標、今後の方向性	-P27
◆ 平成 28 年度（2016 年度）事業計画	-P28
◆ 平成 28 年度（2016 年度）予算	-P29
◆ 平成 28 年度（2016 年度）予算明細	-P30

平成28年度の活動方針

地球市民“5000人”の輪キャンペーン

～地球市民の会の事業に関わる方々の輪を広げる活動を行っていきます～

● 重点項目

① 国際交流を通して地球市民の輪を広げます

スリランカ、ミャンマー、中国・韓国からの招聘事業やイベント等を通して、1000名の方に国際交流に参加していただき、地球市民の輪を広げます。

② 新たな寄付の仕組みの構築を行います

「地球市民の会」を応援したいという方が増えるよう、より参画しやすい寄付の仕組みを構築して、地球市民の輪を広げます。

③ 成果を意識して、事業の「見える化」を行います

事業の目的や社会的意義、成果などを伝えられるよう、発信する情報の質をあげ会報やSNS等で発信していきます。（フェイスブックいいね1700を目指します）

● 事業別重点項目

① 国内事業：

1) 中山間地域づくり事業

- ・佐賀市富士町の空き家事業の継続、地域の方々と連携したサポート体制の整備
- ・佐賀市の集落と外部の人材（企業や大学）のマッチングのサポート

2) 熊本地震支援事業

- ・佐賀県内の熊本地震支援ネットワーク「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」として支援を行います。

② 海外事業：

1) ミャンマー事業

- ・新事業地における地域開発事業の継続とソーシャルビジネスの収益事業化
- ・マネージメントの現地化、TPAミャンマー設立へ向けて前進

2) 奨学金事業

- ・タイ・スリランカ・ミャンマーでの奨学金支援の継続・支援学生の拡充
- ・タイ中学生支援(1990～2015年)の総括
- ・スリランカ高校生招へい事業～カタランカCross Asia2016の実施

3) 日中韓の国際交流事業(TOMODACHI100プロジェクト)

- ・中国の協力先の大学を6大学(27年度4校)に増加、参加者を5人～10人増加

4) 新規事業の調査・立案

- ・今までのノウハウを活かした活動の展開を目指した、新規事業の調査・立案

平成28年度

本年度の目標、実現したいこと、課題、今後の方向性

● 中山間地域づくりは地域の方々や移住者等と連携をして活動を行っていきます。

佐賀市の中山間地域の方々の問題意識として多かった「空き家」「耕作放棄地」の問題解決に向けて、地域の方々だけでなく、移住者等との連携を強化して事業を行っていきます。人口減少の中で移住者をいかに定住までしてもらえるかなど、地域の方々と一緒に受け入れの体制づくりを行っていきます。

耕作放棄地対策事業として2年前から取り組んでいるオリーブ事業も、吉野ヶ里町では地域の方が中心となって吉野ヶ里オリーブ会を結成し活動を行っていきます。

● 平成28年熊本地震の緊急・復興支援を行っていきます。

2016年4月14日、16日と大きな地震が発生した熊本県。当会もすぐに支援物資を募集して配送を行ってきました。

また、今後も息の長い継続的な支援を行うために、東日本大震災のときに活動した「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」を再始動し、県内外のネットワークとともに熊本支援を行っていきます。

● ミャンマー事業はこれまでの農業を中心とした地域開発事業の継続と、昨年度実施した「ソーシャルビジネスの可能性を探る」から一歩前進した「ソーシャルビジネスの実現」へ。

昨年度から新しい事業地へ変更、順調に地域との信頼関係も築くことができました。2016年度は、継続する地域開発事業はマネジメントも含め現地スタッフに任せていき、年度終了時には現地スタッフが主体となり事業を実施している状態にしていきたいと考えています。ソーシャルビジネスは、可能性がある判断した事業を実際に進め、今年度終了時にはソーシャルビジネスから利益が上がっている状態を目指し、持続可能な発展を実現します。

● 奨学金事業として、200名を超える支援者と共に子どもたちを支えます。

奨学金事業では長年支えていただいた1990年から実施していたタイ中学生支援が終了、ミャンマーでの高校生支援の拡大により、大きな転換期です。さとおや会員が今年度は200名を超える予定で、子どもたちに届ける奨学金の分だけ、多くの支援者の力が必要となっています。さとおや会員の皆さんの支えで、支援の輪を広げ、更に多くの子どもたちへ学びを届けられる奨学金事業を目指します。

● 国際交流事業を充実させ、TOMODACHI100プロジェクトに加えスリランカ、ミャンマーの招聘を実施します。

4回目となるTOMODACHI100 プロジェクト(日中韓大学生交流)は、今年度も参加者増を目指します。また、夏にはスリランカの奨学生の招聘交流事業を、秋にはミャンマーのスタッフ・農村青年の招聘研修を行う予定です。これを機に、日本・佐賀のみなさんに当会の事業をもっと知っていただき、また交流を通して国際理解を深めていただけるよう頑張っていきます。

● 新たな寄付の仕組みとしてふるさと納税やマンスリーサポーター制度の導入を行います。

ふるさと納税やマンスリーサポーター制度を活用して新たな層の支援者獲得を目指します。

● 事業の成果をより分かりやすくお伝えします。

会報やフェイスブック等のSNSで、イベントの告知や報告だけでなく、事業の目的や社会的意義、成果等を伝えます。

平成28年度事業計画書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

特定非営利活動法人 地球市民の会

事業内容	実施時期	実施内容
1.本部事業		
①講師派遣事業	通年	学校・各種団体への講師派遣
②連携団体＆地域パートナー事業	通年	新規事業の企画開発
2.国内地域づくり事業		
①中山間地域づくり事業		
佐賀市中山間地域の村落開発事業	通年	菅木もめん、空き家プロジェクト等
オリーブの森プロジェクト	通年	吉野ヶ里町でのオリーブ事業
②子どもプロジェクト		
ふるさとステイ	7月～8月	小学生を対象にした夏休みキャンプ事業
雪国ふるさとステイ	12月	冬の北陸で自然体験事業
③国際交流事業		
日中韓大学生交流事業(TOMODACHI 100プロジェクト)	1月	中国人・韓国人大学生を招聘し、佐賀県全体でのホームステイ事業
④協働事業	通年	行政からの委託事業の実施
3.奨学金関連事業		
奨学金	通年	・タイ・スリランカ・ミャンマーの高校生への奨学金支給継続 ・タイ大学生への奨学金支給継続 ・新奨学金(新規36名 計72名)、タンボジ奨学金(計16名)実施
チャリティショップ	通年	アジアの子ども達の教育環境改善を目的としたセカンドハンドショップ運営・運営体制の改善
スタディツアー	通年	タイ・奨学金支給地・チャリティーショップ支援地の視察
タイ・教育環境改善プロジェクト		タイでの新規奨学金準備
スリランカ招聘事業	8月	佐賀での10日間の交流プログラムの実施
4.ミャンマー事業		
①農業畜産業支援事業		
農業組合の組織と運営	通年	タンボジ、ナウンカ、セレーの3箇所にてモデル組合を組織 マイクロクレジットや農業機材の共同利用など実施
タンボジ農業畜産研修センター	通年	グリーンヒルとの連携、野菜出荷。グリーンヒルインレー運営(女性組合の活性化)
ナウンカ村落開発センター	通年	農民対象の短期・中期・長期研修の実施、モデルファームの充実、有機資材生産場の運営
搾油ビジネス事業	通年	モリンガのほか、えごま、アボガド、ピーナッツなどの農産物の搾油・販売を行う
②開発		
シーサイン給水事業(外務省N連)	～8月	シーサイン地域での飲料水の供給事業
シーサイン農業灌漑整備事業(外務省N連)	9月～	シーサイン地域での農業用水の配水事業
③教育支援・人材育成事業		
タンボジ寮の運営、高校生支援	通年	高校生16名の支援・農村リーダーの育成
学校建設・保育園建設	通年	新事業地学校建設2校、保育園建設1舎
④環境保全事業		
緑の募金 緑化事業	～6月	シーサイン地域での水源涵養コミュニティ林造成
環境保全事業(モリンガプロジェクト)	通年	モリンガを活用した循環型農村づくり
⑤交流事業	9月、3月	TPAスタディツアー実施、鹿児島大学、佐賀大学受入など
⑥SB/CB企画開発	通年	

特定非営利活動法人地球市民の会
平成28年(2016年)度 活動予算書
 自 平成28年(2016年)4月1日 至平成29年(2017年)3月31日

【経常収入の部】	27年度決算	28年度予算	【経常支出の部】	27年度決算	28年度予算
①本部収入	4,069,163	9,630,671	①国内管理費	5,577,418	9,541,600
会費収入	3,174,000	3,300,000	直接事業費	0	1,000,000
寄附金収入	893,379	2,200,000	人件費	3,264,525	5,441,600
事業収入	0	100,000			
その他収入	1,784	50,000	その他管理費	2,312,893	3,100,000
前期繰越正味財産額		3,980,671	収支計	-1,508,255	89,071
②国内事業収入	12,229,316	13,588,460	②国内事業費	11,155,451	13,481,860
寄附金収入	424,250	3,500,000	直接事業費	7,662,081	8,723,460
補助金・助成金等収入	2,059,963	1,488,460	人件費	2,854,494	3,758,400
委託金収入	3,589,418	70,000	その他管理費	638,876	1,000,000
事業収入	6,155,685	8,530,000			
前期繰越正味財産額		0	収支計	1,073,865	106,600
③奨学金事業収入	5,134,544	9,760,744	③奨学金事業費	5,668,405	9,479,600
寄付金収入	3,939,213	5,434,000	直接事業費	2,870,648	5,543,600
助成金収入	870,000	1,050,000	人件費	2,239,541	3,336,000
委託金収入	0	0	その他管理費	558,216	600,000
事業収入	325,331	810,000			
前期繰越正味財産額		2,466,744	収支計	-533,861	281,144
④ミャンマー事業収入	89,214,807	132,072,270	④ミャンマー事業費	83,428,820	121,777,204
寄付金収入	3,905,801	5,300,000	直接事業費	73,413,956	112,039,204
助成金収入	84,206,499	87,907,000	人件費	9,349,369	8,938,000
委託金収入	211,924	0	その他管理費	665,495	800,000
事業収入	890,583	550,000			
前期繰越正味財産額		38,315,270	収支計	5,785,987	10,295,066
経常収入合計	110,647,830	165,052,145	経常支出合計	105,830,094	154,280,264
				当期経常収支差額	4,817,736
				ミャンマー未使用資金戻入損	2,028,096
				寄付物品売却損	1,252,472
				法人税、住民税及び事業税	81,000
				当期正味財産増減額	1,456,168
				前期繰越正味財産額	43,306,517
				次期繰越正味財産額	44,762,685

平成28年度(2016年度)予算明細

本部	収入合計	9,630,671	支出合計	9,541,600
	①会費収入	3,300,000	①事業費	1,000,000
	②寄付金収入	2,200,000	熊本地震支援	1,000,000
	マンスリーサポーター	1,200,000	②人件費	5,441,600
	熊本地震支援	1,000,000	③共通管理費	3,100,000
	③事業収入	100,000		
	講師派遣	100,000		
	④その他の収入	50,000		
	⑤前期繰越金	3,980,671	収支差額	89,071
国内事業	収入合計	13,588,460	支出合計	13,481,860
	①寄付金収入	3,500,000	①直接事業費	8,723,460
	ふるさと納税	3,500,000	TOMODACHI 100 プロジェクト	3,000,000
	②助成金収入	1,488,460	ふるさとステイ	1,600,000
	JT NPO助成事業(オリーブ)	1,488,460	JT NPO助成事業(オリーブ)	948,460
	③委託金収入	70,000	雪国ふるさとステイ	1,600,000
	佐賀県協力隊を育てる会事務局委託費	50,000	ふるさと納税事務管理費等	1,575,000
	さがグリーンツーリズム研究会事務局委託費	20,000	②直接人件費	3,758,400
	④自主事業収入	8,530,000	③共通管理費	1,000,000
	TOMODACHI 100 プロジェクト	4,000,000		
	ふるさとステイ	2,530,000		
	雪国ふるさとステイ	2,000,000	収支差額	106,600
奨学金事業	収入合計	9,760,744	支出合計	9,479,600
	①寄付金収入	5,434,000	①直接事業費	5,543,600
	タイ奨学金(ノンハーン)	516,000	タイ奨学金(ノンハーン)	309,600
	タイ奨学金(大学生)	480,000	タイ奨学金(大学生)	288,000
	スリランカ奨学金	440,000	スリランカ奨学金	220,000
	ミャンマータンボジ奨学金	1,920,000	ミャンマータンボジ奨学金	1,152,000
	ミャンマー奨学金	1,728,000	ミャンマー奨学金	1,036,800
	スリランカ寄付金	100,000	タイ現地調整費	149,400
	教育基金寄付	50,000	スリランカ現地調整費(研修費)	110,000
	ふるさと納税	200,000	ミャンマータンボジ現地調整費	384,000
	②助成金収入	1,050,000	ミャンマー奨学金現地調整費	172,800
	市民活動応援制度チカラット	300,000	スリランカ招へい事業	950,000
	前川報恩会	500,000	タイ新規奨学金準備	150,000
	きょうぎん未来基金	170,000	タイツアー	476,000
	佐賀銀行社会福祉基金	80,000	教育支援事業	55,000
	③自主事業収入	810,000	ふるさと納税事務管理費等	90,000
	タイツアー	560,000	②直接人件費	3,336,000
	チャリティショップ売り上げ	200,000	共通管理費	600,000
	物販	50,000		
	④前期繰越金	2,466,744	収支差額	281,144
ミャンマー事業	収入合計	132,072,270	支出合計	121,777,204
	①寄付金収入	5,300,000	①直接事業費	112,039,204
	学校建設	4,000,000	シーサイン給水事業(N連)	16,000,000
	保育園建設	1,000,000	シーサイン農業配水事業(N連)	64,000,000
	ふるさと納税	300,000	学校建設	6,300,000
	②助成金収入	87,907,000	保育園建設	900,000
	外務省NGO連携無償資金協力(予定)	78,917,000	女性組合支援	1,000,000
	緑の募金(2015年度精算)	1,090,000	環境保全事業	3,190,000
	地球環境基金(環境保全)	3,100,000	農業組合支援	1,000,000
	ゆうちょ助成金(女性組合支援)	1,000,000	ナウンカセンター整備	1,000,000
	農業組合支援	1,000,000	スタディツアー	425,000
	大阪コミュニティ財団	1,000,000	招聘研修	1,000,000
	積水ハウスマッチング	1,800,000	ふるさと納税事務管理費等	135,000
	③委託金収入	0	ミャンマー未使用資金	17,089,204
	④自主事業収入	550,000	②直接人件費	8,938,000
	スタディツアー	500,000	ミャンマー	5,110,000
	フェアトレード商品販売	50,000	国内	3,828,000
	⑤前期繰越金	38,315,270	共通管理費	800,000
			収支差額	10,295,066
全体	収入合計	165,052,145	支出合計	154,280,264

特定非営利活動法人地球市民の会 平成28年度役員

名誉職

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
永久名誉会長	古賀 武夫		
名誉会長	山口 祥義	佐賀県	知事
名誉副会長	秀島 敏行	佐賀市	市長

顧問

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
顧問	井戸 敏三	兵庫県	知事
顧問	稲田 繁生	学校法人 伊万里学園/敬徳高校	理事長
顧問	松隈 克彦	佐賀県地域交流部国際課	課長
顧問	今村 雅弘	衆議院	議員
顧問	井本 勇	学校法人佐賀清和学園	理事長
顧問	大草 秀幸	企画工房リプロ	代表
顧問	大串 博志	衆議院	議員
顧問	小原 健史	(株)和多屋別荘	代表取締役
顧問	小原 嘉文	嬉野温泉観光(株)	代表取締役社長
顧問	小山 高生	脚本家/大阪芸術大学	教授
顧問	坂井 学	衆議院	議員
顧問	薩摩 和男	(株)美々卯	社長
顧問	三遊亭 歌之介	落語家	
顧問	豊田 泰光	野球評論家	
顧問	上甲 晃	志ネットワーク	代表
顧問	中尾 清一郎	(株)佐賀新聞社	社長
顧問	古川 康	衆議院	議員
顧問	宮崎 耕治	国立大学法人佐賀大学	学長
顧問	原口 一博	衆議院	議員
顧問	平湯 慎介	平湯コーポレーション	代表取締役社長
顧問	福岡 資麿	参議院	議員
顧問	マリ クリスティーヌ	有限会社 エムキューブインターナショナル	
顧問	牟田 清敬	牟田法律事務所	弁護士
顧問	山下 雄平	参議院	議員

評議員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
評議員	青柳 達也	株式会社 LbE Japan	
評議員	有岡 大介	(株)STSライブプロモーション	部次長
評議員	大島 隆	和食処おおしま	代表取締役
評議員	小松 敏正	小松商店 金属部	専務
評議員	副島 正幸	潮音寺	住職
評議員	高橋 良輔	青山学院大学 地球社会共生学部	教授
評議員	田島 広一	田島興産株式会社	代表取締役
評議員	平野 喜幸	NPO法人れんげ国際ボランティア会	ミャンマープロジェクトディレクター
評議員	深川 千幹	佐賀市立思斉館 中学部	
評議員	藤 雅仁	株式会社七浦/道の駅鹿島	統括部長／事務局長
評議員	前田 英彦	長崎県松浦市役所	
評議員	満岡 聡	満岡内科消化器科医院	院長
評議員	峰 悦男	峰公認会計士事務所	代表
評議員	宮地 大治	(株)佐賀電算センター	代表取締役社長
評議員	百生 詩緒子	独立行政法人 国際協力機構	専門家(タイ)

特定非営利活動法人地球市民の会 平成28年度役員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
会長	佐藤 昭二	一般社団法人 ふる里再生協会	専務理事
副会長	多良 淳二	一般財団法人 佐賀銀行文化財団	事務局長
副会長	山下 雄司	(株)サガプリンティング	専務取締役
副会長	草場 一壽	今心工房	陶彩画家

理事

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
理事長	山口 久臣	一般社団法人アイ・オー・イー	代表理事
副理事長	大野 博之	一般社団法人 ユバーサル人材開発研究所	代表理事
副理事長	稲富 正人	佐賀県政策部 危機管理・報道局	副局長
理事	五十嵐 勉	国立大学法人 佐賀大学 全学教育機構	教授
理事	古賀 大之	一般社団法人 和スポーツクラブさが	理事長
理事	柴田 京子	認定NPO法人地球市民の会	ミャンマー代表
理事(兼任)	多良 淳二	一般財団法人 佐賀銀行文化財団	事務局長
理事	田中 啓之	佐賀県税事務所納税課	主査
理事	土井 敏弘	みどりや茶舗	代表
理事	成尾 雅貴	熊本県東京事務所	次長
理事	西村 一守	Produce Office Nishimura PON	代表
理事	西村 尚子	ステンドグラス工房 グラスパレット	主宰
理事	増田 誠司	(株)増屋	代表取締役
理事	八田 康博	(有)八田工作所	代表取締役
理事(兼任)	山下 雄司	(株)サガプリンティング	専務取締役
監事	田中 進	(株)佐賀電算センター	代表取締役会長
監事	古賀 和夫	有限会社 ニューポーン新古賀	代表取締役

新任

会長・副会長の役割 地球市民の会の理念や活動について対外的に伝える代表です。

理事の役割 理事は会の経営に携わり、意思決定とその責任を有します。
理事長は、経営権を持ち、活動に対する指揮権と責任を有します。
副理事長は理事長を補佐します。
専務理事は理事会の決定実施するために事務局を統括します。

監査の役割 活動内容が理念や社会的規範から離れていないかなどの問題がないかを、
また、財務会計状況に問題がないかを監査します。

会員総会の役割 会の最高意思決定機関です。理念や目的を達成するための各種事業に対して是非の判断しま
総会及び会長、副会長に対して専門的な立場から指導又は助言等を行ないます。
理事会の経営や事業実施に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。

平成27年度をもって退任される役員

長期にわたり、地球市民の会を支えていただきありがとうございました。

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
顧問	佐伯 義統	社会保険労務士 佐伯社会保険労務士事務所	所長
理事	松前 あかね	グローバルブリッジ	代表

地球市民の会 32 年の歴史

- 1973 年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
- 1980 年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
- 1983年 「地球市民の会」設立
- 1986年 第 1 回小さな地球計画開始
- 1987年 日タイ協力事業開始
- 1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990 年 地球市民奨学金開始
- 1992 年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995 年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002 年 NPO 法人格取得
- 2003年 ミャンマープロジェクト開始
- 2008年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009 年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱
- 2009年 佐賀市中山間地元気再生事業開始
- 2010年 国税庁より認定 NPO として認定
- 2011年 ASC2008 認証
- 2011 年 東日本大震災復興支援事業開始
- 2013 年 創立 30 周年記念・北澤氏講演会
- 2015 年 ASC2012 認証
- 2016 年 平成 28 年熊本地震支援事業開始



タイ・クークャオ卒業式

地球市民の会 主な褒章

- 1988 年 サントリー地域文化賞
- 1989 年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994 年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996 年 自治大臣表彰
- 1996 年 厚生大臣感謝状
- 2000年 外務大臣表彰
- 2003年 にしぎんアジア貢献賞
- 2006年 地球倫理推進賞
- 2006 年 文部科学大臣奨励賞



TOMODACHI100 ウェルカムパーティー

地球市民の会組織図 2016 年度

